audio-technica

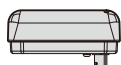
取扱説明書

赤外線マイクロホンシステム

ATIR-R84
4chレシーバー

ATIR-R82(E)
2chレシーバー

ATIR-R82(G)
2chレシーバー

ATIR-A40
受光ユニット

ATIR-A41
受光ユニット

特 長

●電波を使わない赤外線伝送方式。
隣接した部屋との混信の心配がありません。

●赤外線方式は情報漏洩に強く､電波式ワイヤレスマイクや、2.4GHz会議マイクシステムとの混信もありません。

●4chレシーバー､2chレシーバー2台の組み合わせにより､マイクロホンを8本同時に使用可能。

●レシーバーはMIX入出力端子を装備し､8本の出力をまとめて1本で出力が可能です。

●受光ユニットATIR-A40は約60°の指向性、
ATIR-A41は無指向性で8波全帯域を安定して受信。

お買い上げありがとうございます。お使いになる前にこの説明書を必ずお読みください。
また保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

⚠ 注意

●分解しないでください。火災、感電や故障の原因となります。
●振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
●調理台の近く、油、煙や湯気のあたる場所で使わないでください。火災の原因になることがあります。
●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。
●湿度の高い場所に置かないでください。また水がかからないようにしてください。誤って水が入ると感電、故障や火災の原因になります。
●梱包のポリ袋は幼児の手の届かない所に置いてください。
また火のそばに置かないでください。
●汚れたときは電源プラグを抜いてから、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

⚠ 設置上の注意

●受光ユニットが高感度なため直射日光の射し込む場所などでは、ノイズを発生することがあります。その場合はカーテンなどで窓を覆ってください。
●振動、衝撃の多い場所、ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因になることがあります。
●受光ユニットを照明器具の近くやスポットライトの光があたる場所に設置しないでください。
●調理台の近くなど、油、蒸気、熱のあたる場所には設置しないでください。
●振動する場所には設置しないでください。
●赤外線の到達距離は、天井や壁の色や材質によっても変化する場合があります。
●到達距離とは無関係にノイズが発生する場合があります。その場合には適切な場所に受光ユニット、レシーバーを設置してください。
●天井に受光ユニットを設置する際は、窓または壁から少なくとも2～3m離して設置してください。
●壁に受光ユニットを設置する際は、天井から少なくとも2～3m離して設置してください。
●受光ユニットは、蛍光灯から50cm以上離して設置してください。
●音声ケーブル・受光ユニットケーブルの配線上に大型電気機器がある場合に、ノイズが発生する可能性があります。
●プラズマディスプレイ、同時通訳システムなど赤外線を使用した機器とは、同時使用できない場合があります。
●その他下記の赤外線発生源の近くに受光ユニット、レシーバーを設置すると、システムの動作不良やノイズが発生する原因となる可能性があります。また、マイクロホンについても同様に赤外線やノイズの発生源に近づけないように注意してください。

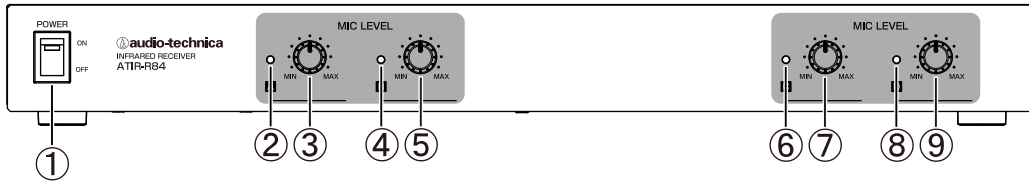
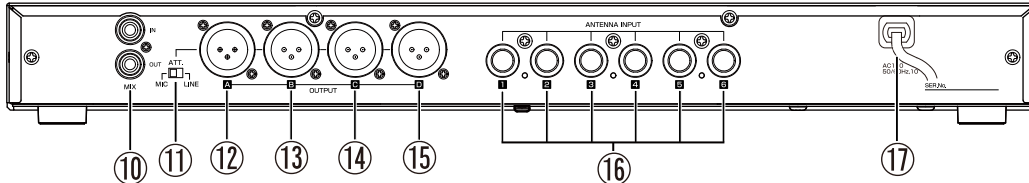
・照明装置
・プロジェクター(液晶やDLPなど)、OHP、白熱電球など
・水銀灯、ハロゲン灯、インバータ式蛍光灯、ブラックライト
・プラズマディスプレイ
・リモコン、赤外線マイク、赤外線LANなどの赤外線機器
・調光器
・デジタルパワーアンプなどの、デジタル機器及びその配線
(デジタルパワーアンプのスピーカー出力配線など)

目次

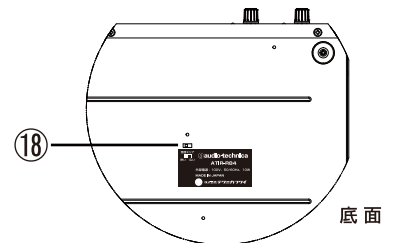
レシーバー：各部の名称と機能

ATIR-R84

正 面

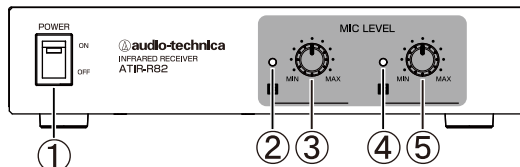
裏 面

①電源スイッチインジケーター（レッド）電源が入ると点灯します。
②Aチャンネルマイクインジケーター（受信時グリーンに点灯）
③Aチャンネルマイクボリューム
Aチャンネルのマイク音量を調整します。
④Bチャンネルマイクインジケーター（受信時グリーンに点灯）
⑤Bチャンネルマイクボリューム
Bチャンネルのマイク音量を調整します。
⑥Cチャンネルマイクインジケーター（受信時グリーンに点灯）
⑦Cチャンネルマイクボリューム
Cチャンネルのマイク音量を調整します。
⑧Dチャンネルマイクインジケーター（受信時グリーンに点灯）
⑨Dチャンネルマイクボリューム
Dチャンネルのマイク音量を調整します。
⑩MIX入出力端子(RCA)
複数のレシーバーを接続する際に使用します。(P.3接続例参照)
⑪マイク／ライン出力切換スイッチ（出荷時ライン）
⑫Aチャンネルバランス出力端子(XLR3ピン･オス)
⑬Bチャンネルバランス出力端子(XLR3ピン･オス)
⑭Cチャンネルバランス出力端子(XLR3ピン･オス)
⑮Dチャンネルバランス出力端子(XLR3ピン･オス)

⑯受光ユニット入力端子(BNC) x6
受光ユニットを接続した同軸ケーブルを接続します。
⑰電源コード（AC100V）

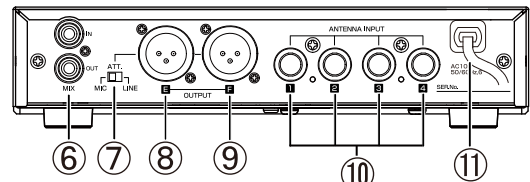
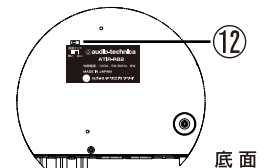
底 面

⑱受信エリア切換スイッチ(底面)
受信エリアを狭くしたい時に切り換えます。
通常は出荷時「広い」で使用します。

ATIR-R82(E)/ATIR-R82(G)

正 面

裏 面

①電源スイッチインジケーター（レッド）電源が入ると点灯します。
②Eチャンネルマイクインジケーター（受信時グリーンに点灯）
※ATIR-R82(G)はGチャンネル
③Eチャンネルマイクボリューム
Eチャンネルのマイク音量を調整します。
※ATIR-R82(G)はGチャンネル
④Fチャンネルマイクインジケーター（受信時グリーンに点灯）
※ATIR-R82(G)はHチャンネル
⑤Fチャンネルマイクボリューム
Fチャンネルのマイク音量を調整します。
※ATIR-R82(G)はHチャンネル
⑥MIX入出力端子(RCA)
複数のレシーバーを接続する際に使用します。(P.3接続例参照)
⑦マイク／ライン出力切換スイッチ（出荷時ライン）
⑧Eチャンネルバランス出力端子(XLR3ピン･オス)
※ATIR-R82(G)はGチャンネル
⑨Fチャンネルバランス出力端子(XLR3ピン･オス)
※ATIR-R82(G)はHチャンネル
⑩受光ユニット入力端子(BNC) x4
受光ユニットを接続した同軸ケーブルを接続します。
⑪電源コード（AC100V）

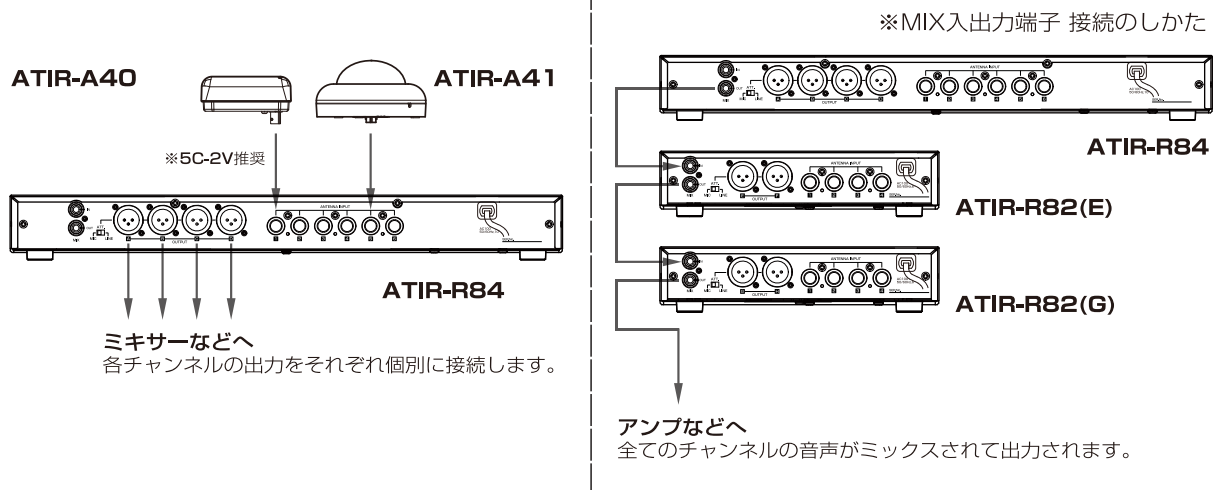
⑫受信エリア切換スイッチ(底面)
受信エリアを狭くしたい時に切り換えます。
通常は出荷時「広い」で使用します。

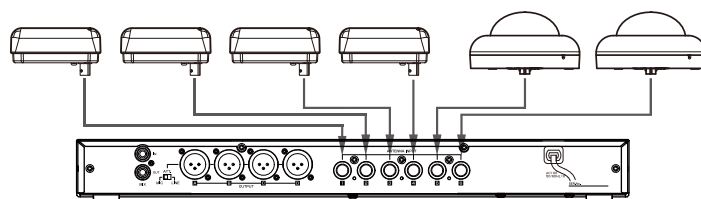
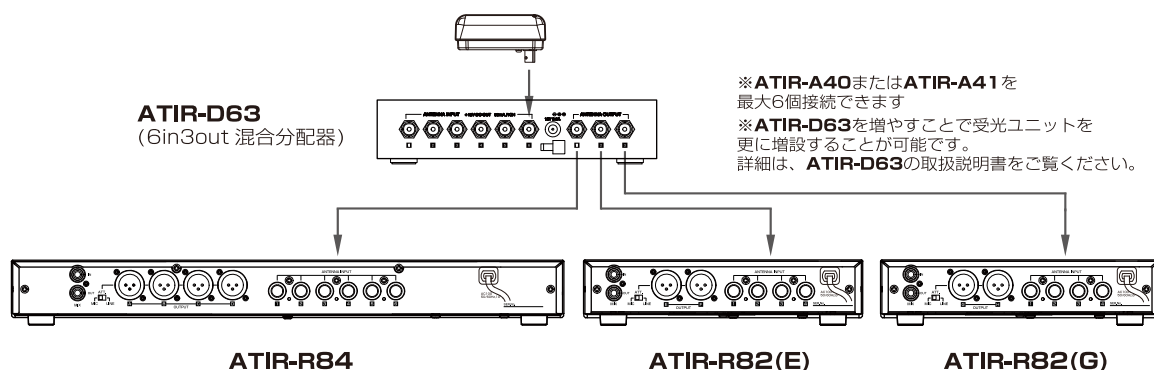
底 面

⚠注意

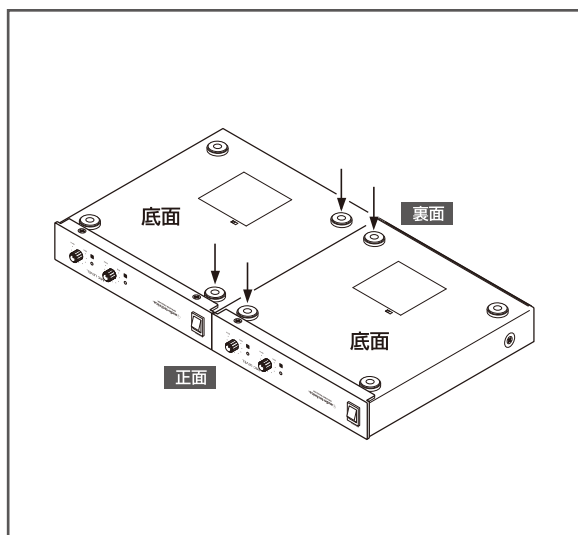
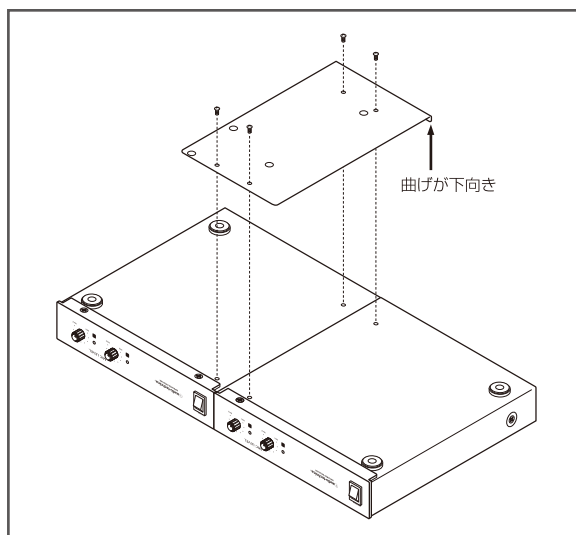
- 本機を高温になるパワーアンプやデジタルノイズを出す機器のそばに置かないでください。高温やデジタルノイズにより受信感度が悪くなる場合があります。
- プラズマディスプレイに受光ユニットを向けたり、近づけるとノイズが極端に増える場合があります。
- 受光ユニットを複数個接続される場合、つなぐコードの長さはできるだけ同じにしてください。長さの差が大きいとノイズが増えることがあります。

レシーバー：接続のしかたと接続例

■接続のしかた

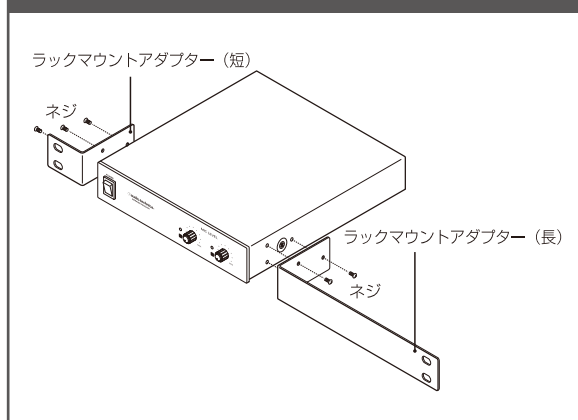
①電源コードの先端プラグをAC100Vコンセントに差し込みます。
②接続する機器の入力感度に合わせてレシーバーの出力切換スイッチをマイク/ライン側にします。(出荷時ライン)
③別売のコードでレシーバーの出力端子とつなぐ機器の入力端子をつなぎます。
　＊つなぐ機器の取扱説明書をよくお読みください。
④受光ユニット入力端子へ受光ユニット**ATIR-A40**または**ATIR-A41**と接続された同軸ケーブルを接続します。(※受光ユニット接続例参照)
　ATIR-A40,ATIR-A41は、**ATIR-R82,ATIR-R84**の両方に使用可能です。

※受光ユニット接続例

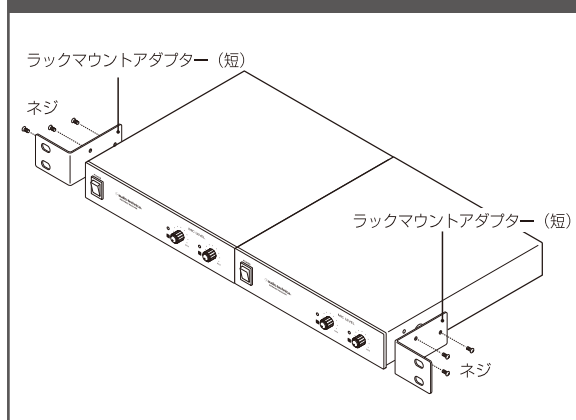
ATIR-A40(または**ATIR-A41)**を最大6個接続できます。
ATIR-R82は最大4個接続できます。

ATIR-R84／ATIR-R82(E)／ATIR-R82(G)を同時に使用する場合
ATIR-D63を使用することで、**ATIR-A40**または**ATIR-A41**を共通で使用できます。

RP1000 連結プレート（別売）：使いかた

ATIR-R82(E)と**ATIR-R82(G)**を同じ部屋でご使用の場合、レシーバーに別売のRP1000 連結プレートを取り付けセッティングできます。
＊プラスドライバーをご用意ください。

①各レシーバー底面に取り付けてあるゴム足を各2個ずつはずします。

②連結プレートをレシーバー底面に外したゴムアシのネジで取り付けます。
＊連結プレートには方向がありますので、曲げの部分をレシーバー裏面になるようにします。
＊ネジは4本しっかり取り付けてください。

ラックマウントアダプター：使いかた

ラックマウントでご使用の場合、レシーバー**ATIR-R82**と**ATIR-R84**に付属のラックマウントアダプターを取り付けます。
＊プラスドライバーをご用意ください。

1台セッティングの例

①レシーバーの側面にラックマウントアダプターを付属のラックマウントアダプター取付ネジで取り付けます。
＊付属のラックマウントアダプターは、アングルの長さが長いタイプと短いタイプの2種類があります。レシーバーの側面どちらでも取り付けられます。
＊ラックマウントアダプター取付ネジは左右各3本ずつ、しっかり取り付けてください。
＊**ATIR-R84**は、付属のラックマウントアダプターのアングルの長さが短いタイプを両側面に取り付けてください。

2台セッティングの例

＊別売の連結プレートを取り付け、ラックマウントでご使用の場合は、ラックマウントアダプターのアングルの短いタイプを左右に取り付けます。

受光ユニット　ATIR-A40（別売）：設置のしかた

●カメラネジアダプターを使用する場合

①受光ユニットにカメラネジアダプターを付属のネジで取り付けます。

②別売のIRフィクサーまたは市販のカメラ取り付けブラケットを天井に取り付けます。

③カメラ取り付けブラケットの先端ネジに、受光ユニットを取り付けます。

⚠取り付け上の注意

- ●受光ユニットのコードを壁などに固定する場合、強い力で固定すると断線することがありますのでご注意ください。
- ●取り付け場所の強度を確認してください。強度不足、取り付けの不備による落下などの事故に対する責任は、当社は一切負いません。

⚠注意

- ●レシーバー本体には赤外光受光器はありません。受光ユニットを必ずレシーバー本体とつないでください。
ATIR-A40は**ATIR-R82**と**ATIR-R84**の両方に使用可能です。
- ●マイクロホンの赤外光発光部及び受光ユニットは手で覆わないでください。また発光部と受光部との間に仕切りや障害物があるとノイズが混入したり、音が出なかったりする原因になります。

※受光ユニット指向特性の目安
（角度調整の参考にしてください。）

●受光ユニット取り付け金具を使用する場合

壁取り付けの場合

①受光ユニットに取り付け金具の長い方をネジでとめます。

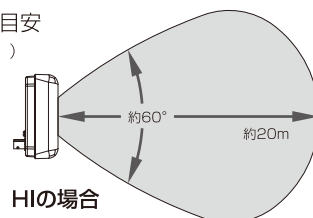
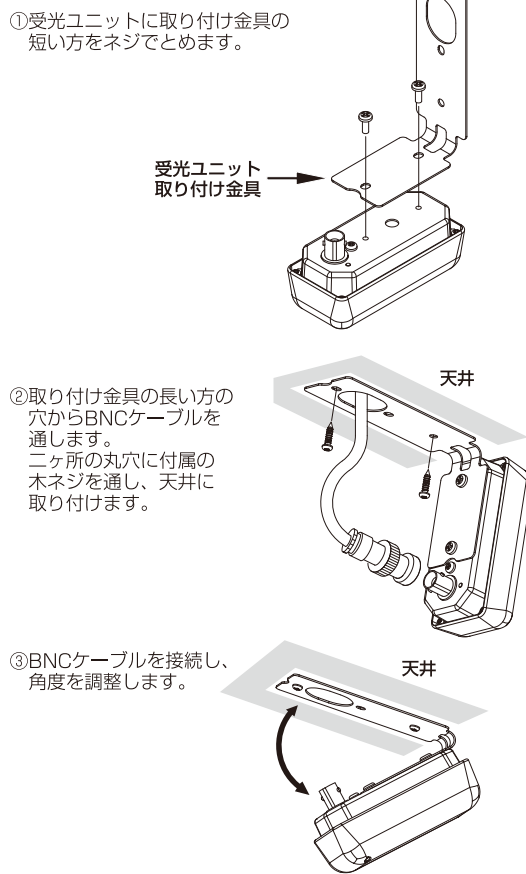
②取り付け金具の短い方の二ヶ所の丸穴に付属の木ネジを通し、壁に取り付けます。

③BNCケーブルを接続し、角度を調整します。

天井取り付けの場合

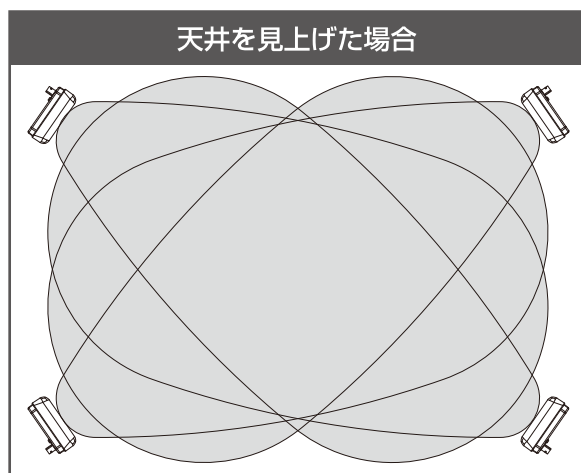
①受光ユニットに取り付け金具の短い方をネジでとめます。

②取り付け金具の長い方の穴からBNCケーブルを通します。
二ヶ所の丸穴に付属の木ネジを通し、天井に取り付けます。

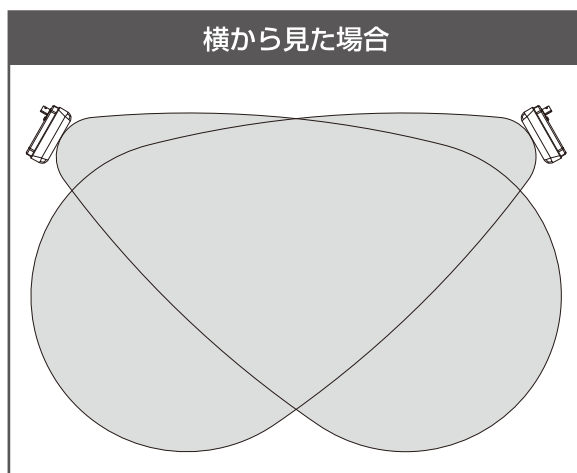
③BNCケーブルを接続し、角度を調整します。

受光ユニット ATIR-A40（別売）：セッティング例

天面から見たセッティング例

受信範囲がある程度重なるように受光ユニットを取り付けると効果的です。

※ATIR-A41は専用の取扱説明書をご覧ください。

天井を見上げた場合

レシーバーの受信エリア切換スイッチ
受信エリア「広い」の場合
マイクの出力切換スイッチ
HI 20m、LO 15m、ECO 10m
(A40正面にて)

受信エリア「狭い」の場合
マイクの出力切換スイッチ
HI 11m、LO 8m、ECO 5m
(A40正面にて)

横から見た場合

レシーバーの受信エリア切換スイッチ
受信エリア「広い」の場合
マイクの出力切換スイッチ
HI 20m、LO 15m、ECO 10m
(A40正面にて)

受信エリア「狭い」の場合
マイクの出力切換スイッチ
HI 11m、LO 8m、ECO 5m
(A40正面にて)

赤外線マイクロホンシステム互換表

本システムは下表を参考に、マイクロホン，レシーバーを組み合わせてご使用ください。

マイクロホン 受光ユニット 混合分配器 ＼ レシーバー	ATIR-T22A	ATIR-T22B	ATIR-T25	ATIR-T33A	ATIR-T33B	ATIR-T35	ATIR-T88	ATIR-T85	ATIR-A40	ATIR-A41	ATIR-D62	ATIR-D63
ATIR-R22	○	○	○	×	×	×	※1	※1	○	○	○	○
ATIR-R33	×	×	×	○	○	○	※2	※2	○	○	○	○
ATIR-R84	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○
ATIR-R82(E)	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○
ATIR-R82(G)	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○

※1：ATIR-R22で使用できるATIR-T88及びATIR-T85は
　　EチャンネとIチャンネルのみです。
※2：ATIR-R33で使用できるATIR-T88及びATIR-T85は
　　CチャンネルとJチャンネルのみです。
詳細は、ATIR-T88、ATIR-T85の取扱説明書をご覧ください。

＊充電器BC700は上記互換表に記されている全てのマイクロホンに使用可能です。

＊ATIR-R22/R33とATIR-R84/R82を混在して使用することはできません。

テクニカルデータ

赤外線4chレシーバー：ATIR-R84
赤外線2chレシーバー：ATIR-R82(E)/ATIR-R82(G)

ATIR-R84
受信方式：スーパーヘテロダイン方式
受信チャンネル数：4チャンネル
入力レベル：　MIX入力　－12dBV
出力レベル：　バランス出力　(VOL MAX)
　　　　マイク　－39dBV
　　　　ライン　0dBV
　　　MIX出力　－12dBV
受光ユニット端子：BNC x6 (75Ω)
消費電力：10W
電源：AC100V、50/60Hz
外形寸法：H44×W420×D225mm
質量：約3.0kg
●付属品：ラックマウントアダプター　短×2
　　　　：ラックマウントアダプター用　取り付けネジ×6
　　　　：CHシール

ATIR-R82(E)／ATIR-R82(G)
受信方式：スーパーヘテロダイン方式
受信チャンネル数：2チャンネル
入力レベル：　MIX入力　－12dBV
出力レベル：　バランス出力　(VOL MAX)
　　　　マイク －39dBV
　　　　ライン 0dBV
　　　MIX出力　－12dBV
受光ユニット端子：BNC x4 (75Ω)
消費電力：6W
電源：AC100V、50/60Hz
外形寸法：H44×W210×D225mm
質量：約1.9kg
●付属品：ラックマウントアダプター　長×1、短×1
　　　　：ラックマウントアダプター用　取り付けネジ×6
　　　　：CHシール

受信周波数

ATIR-R84	A	3.04MHz
	B	3.48MHz
	C	3.70MHz
	D	3.84MHz
ATIR-R82(E)	E	2.06MHz
	F	2.48MHz
ATIR-R82(G)	G	2.70MHz
	H	2.82MHz

赤外線受光ユニット（別売）：ATIR-A40
ATIR-A41

ATIR-A40
外形寸法：H33×W39×D86mm
質量：88g
●付属品：木ネジ×2
　受光ユニット取付金属×1
　カメラネジアダプター×1
　ネジ（取付金具またはカメラネジアダプター）×2

ATIR-A41
外形寸法: φ108×H55.5mm
質量: 140g
●付属品: 取付ブラケット×1
　　　　取付ブラケット固定ネジ×2

※システムを運用するには下記製品の組み合わせが必要です。(別売)

・マイクロホン
　ATIR-T88
・トランスミッター
　ATIR-T85
・受光ユニット
　ATIR-A40
　ATIR-A41
・赤外線混合分配器 (6in3out)
　ATIR-D63
・マイクロホン／トランスミッター充電スタンド
　BC700
・ニッケル水素充電池（組電池）
　HR15/101
・**RP1000 連結プレート**
・**AT8426 マイクホルダー**
（改良などのため予告なく変更することがあります。）

故障かな？と思う前に

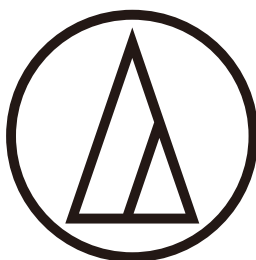
レシーバーの電源が入らない

電源コードがコンセントに差し込んでありますか？
→電源コードをコンセントに接続してください。

音声が出ない

・レシーバーの出力の切り換えは確かですか？
→接続した機器によってマイク/ラインを切り換えます。
・本体のボリュームまたは接続した機器のボリュームを
　絞りきっていませんか？
→ボリュームを上げてください。
・マイクのチャンネル設定がレシーバーと合っていますか？
→A～Hのチャンネル設定をご確認ください。

レシーバーが受信しない

・マイクと受光ユニットとの間に障害物がありませんか？
→直視可能な場所に設置してください。
　※距離は室内の状況により変化します。
→P.3の接続例を参考に到達範囲内でご使用ください。

製品保証及び修理などにつきましてはお買い上げのお店、
または別紙記載の弊社営業所までお問い合わせください。

株式会社オーディオテクニカ
http://www.audio-technica.co.jp

R100 環境保護、資源リサイクルのため
古紙配合率100%再生紙を使用しています。

142313200